

『心の聖地』スポーツ闘いの記憶

「スポーツが持つ多様な魅力がQOLを豊かにする」を紐解くヒント

共同通信社編

岩波書店 2012年



海老久美子 (えびくみこ)

推薦者

立命館大学スポーツ健康科学部・同研究科教授。1962年神奈川県生まれ。博士(栄養学)。管理栄養士。公認スポーツ栄養士。オリンピック強化指定選手やプロ野球選手をはじめ、様々なアスリートの食事サポートを実施。著書に『野球食』『野球食 Jr.』『野球食のレシピ』(ベースボール・マガジン社刊)、『食トレ』(池田書店)など。

本書は、共同通信社が2010年に全国の加盟新聞社に配信し、2010年ミズノ・スポーツライター賞を受賞した『心の聖地』—スポーツ、あの日から—の書籍化である。

私はあまり深く考えずに、取材をお受けしたが、念入りな打ち合わせの後、撮影とともに数回に渡って滋賀の私の現場に来られた。その綿密で丁寧な取材に感銘を受けたのを憶えている。

書籍化された本書は、4つのカテゴリーで45編が収められている。内容の深さは、取り上げられた主人公達の名前が物語っているだろう。

- 一 時代に翻弄されながら ~坂井義則(東京五輪聖火最終ランナー)、カール・シュランツ(アルペン)、カシアス内藤(ボクシング)、張本勲(プロ野球)、吉田実(競輪)、瀬古利彦(マラソン)、ベラ・チャスラフスカ(体操)、中西太(プロ野球)、竹田恒和(馬術)、王貞治(プロ野球)
- 二 苦悩の先、細い光 ~坂本佳一(夏の甲子園準優勝)、岩崎恭子(競泳)、池田敬子(体操)、北の湖(大相撲)、三輪勝(装蹄師)、吉田義男(元阪神監督)、荘則棟(卓球)、千田美智仁(ラグビー)、中嶋常幸(ゴルフ)、森且行(オートレーサー)
- 三 ライバルに背中を押され ~君原健二(マラソン)、加藤滝男・保男(登山家)、早慶レガッタ(ボート)、橋爪四郎(競泳)、西側よしみ(競泳)、モハメド・ラシュワン(柔道)、北沢欣浩(スピードスケート)、村椿輝雄(野球)
- 四 パイオニアの苦悩 ~今村美智子(競技かるた)、辻谷政久(砲丸職人)、中山律子(ボウリング)、中井広恵(女流棋士)、海老久美子(スポーツ栄養学)、木之本興三(元・Jリーグ専務理事)、谷田絹子(バレーボール)、笹原広喜(車いすマラソン)、山口香(柔道)
- 五 世界を舞台に ~川口悠子(フィギュアスケート)、ワタル・ミサカ(プロバスケットボール)、奥寺康彦(サッカー)、沢松和子(テニス)、篠塚健次郎(自動車ラリー)、村上雅則(元・大リーグ)、馬淵崇英(飛び込み競技指導者)、小林俊一(スポーツコーディネーター)〈掲載順／敬称略〉。

往年のトップ選手から私のような裏方まで、45人の心に秘める「聖地」をキーワードに、綿密な取材を元にそれぞれの軌跡を描き出す。時代や政治に翻弄されながらそれでも貫いた信念。選手として頂点を極めたその後の挫折、等、それぞれの心の聖地と共に語られる、それぞれの人生の闘いの記憶からは、今までに感じたことのなかったスポーツを味わうことができる。

それぞれ膨大になったと思われる情報から、丁寧に丁寧に研ぎすまされたボディ(本文)は、トップアスリートのボディ(肉体)を彷彿とさせる。そこに費やされたエネルギーを含め、まさにスポーツの「多様な魅力」を感じる一冊である。

CEL

Books : editor's choice

- 『スポーツ解体新書』玉木正之 日本放送出版協会(2003年)
- 『地域を変えた総合型地域スポーツクラブ』山口泰雄 大修館書店(2006年)
- 『脳に効く! コーディネーション運動—楽しく動いて脳活性』荒木秀夫、桐野衛二、多田ゆかり 主婦と生活社(2007年)
- 『スポーツで地域をつくる』堀繁、薄井充裕、木田悟 東京大学出版会(2007年)
- 『健康・スポーツへの招待—今日から始めるアクティブ・ライフ』山口泰雄 体育施設出版(2007年)
- 『スポーツマネジメント』原田彦彦、小笠原悦子 大修館書店(2008年)
- 『ドイツに学ぶスポーツクラブの発展と社会公益性』クリストフ・ブロイアー 黒須充 監訳 創文企画(2010年)
- 『健康・フィットネスと生涯スポーツ』東海大学一般体育研究室 大修館書店(2010年)
- 『現代スポーツ論の射程—歴史・理論・科学』金井淳二 文理閣(2011年)
- 『スポーツマーケティング入門—コラーのマーケティング3.0に学ぶ』久保田正義 秀和システム(2011年)
- 『「一流」が使う魔法の言葉—スポーツオノマトペで毎日がワクワク!』藤野良孝 祥伝社(2011年)
- 『スポーツの経済と政策』伊多波良雄、八木匡、伊吹勇亮、横山勝彦 晃洋書房(2011年)
- 『現代スポーツの社会学—課題と共生への道のり』J.コークリー 南窓社(2011年)
- 『スポーツ応援文化の社会学(SEKAISHISO SEMINAR)』高橋豪仁 世界思想社(2011年)
- 『スポーツ政策論』菊幸一、真山達志、横山勝彦、齋藤健司 成文堂(2011年)
- 『よくわかるスポーツ文化論』井上俊、菊幸一 ミネルヴァ書房(2012年)
- 『スポーツの組織文化と産業』横山勝彦、八木匡、松野光範、朝原宣治 晃洋書房(2012年)
- 『基礎から学ぶスポーツリテラシー』高橋健夫他 大修館書店(2012年)
- 『スポーツビジネス最強の教科書』平田竹男 東洋経済新報社(2012年)
- 『メディアスポーツへの招待』黒田勇 ミネルヴァ書房(2012年)
- 『スポーツの経済学』マイケルA.リーズ 中央経済社(2012年)
- 『スポーツビジネスの法と文化—アメリカと日本』グレン M.ウォン 成文堂(2012年)
- 『女子大生が立ち上げたプロスポーツのビジネス戦略ストーリー』渡辺保 日刊スポーツ出版社(2012年)